

【引受保険会社】



〒108-8020 東京都港区白金1-17-3

変額保険

グローバルミックス

月次運用レポート

2016年2月

【利用する投資信託の委託会社】

アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社



アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社は、マルチ・エキスパートによる資産運用業務をグローバルに展開するアクサ・インベストメント・マネージャーズの日本法人として、機関投資家の資金や投資信託の運用を行う資産運用会社です。1987年の日本進出以来、ファンダメンタルズ情報と最新の運用テクノロジーを結合することにより、一貫した投資哲学に基づく株式のアクティブ運用を行うとともに、債券、オルタナティブ投資商品といった幅広い投資家のニーズに応える高品質な運用商品を提供しています。

特別勘定の運用方針について

基本資産 配分比率	運用方針	利用する投資信託	
		投資信託名	委託会社
株式 50%	日本国債をはじめとする債券及び日本・米国・欧州の株式に分散投資することにより、中長期での資産の安定的な成長をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。 基本資産配分は、株式50%程度、債券50%程度とします。 運用の決定にあたっては、収益性、安全性、流動性に配慮し、運用環境の動向に応じた資産配分を行います。 (特別勘定の運用は、アクサ生命保険株式会社 ALM & 特別勘定運用部が行います。)	アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
		アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)	
		アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B) (適格機関投資家私募)	
債券 50%			

※ 特別勘定の運用方針、利用する投資信託および委託会社等の運用協力会社は、将来変更されることがあります。

※ 特別勘定には、各種支払等に備え、一定の現金、預金等を保有することがあります。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額保険」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、アクサ生命保険株式会社の「変額保険」の運用状況等を開示するためのものであり、生命保険の募集を目的としたものではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「リファレンスブック」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等していますので、合計等と合致しないことがあります。

変額保険

特別勘定の月次運用レポート（2016年2月）

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- ・当ページは、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき、アクサ生命保険株式会社が作成し提供するものです。情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その正確性・完全性については、これを保証するものではありません。

運用環境 [2016年2月]

【日本株式市場】

日本株式市場は、TOPIX(東証株価指数)が前月末比△9.37%下落の1,297.85ポイントで終了しました。
月前半は、日銀によるマイナス金利政策の導入決定が好感されたことなどを背景に上昇した後、急速な円高に加え、10年国債利回りがマイナスとなり運用環境の悪化懸念などを受けて金融株が売られたことなどから、大幅に下落しました。月後半は、円高進行の一服や原油先物価格の反発などから、株価は幾分持ち直し展開となりました。
業種別(東証33業種)では、月間で上昇した業種はなく、原油市況の悪化などの影響を受け「鉱業」(同△1.78%)が最も下落しました。

【外国株式市場】

米国株式市場は、月前半、原油相場の上昇などで上昇する場面もありましたが、FRB(米連邦準備制度理事会)議長の議会証言で米国の先行きの景気減速が懸念されたことなどから下落しました。月後半は、原油先物価格の上昇などで市場心理が好転し、またエネルギーや素材関連銘柄が買われたことなどから上昇しました。NYダウは、前月末比+0.3%上昇の16,516.50ドルで終了しました。
欧州株式市場は、月前半、独大手銀行の利払い懸念などから下落が続きましたが、同銀行が債券の買戻し計画を発表したことなどを受けて上昇しました。月後半は、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が3月にも追加金融緩和を行う可能性を改めて示唆したことなどから、上昇しました。月を通して見ると、市場別騰落率は、英FT100が前月末比+0.22%上昇、仏CAC40が同△1.44%下落、独DAXが同△3.09%下落となりました。

【日本債券市場】

日本債券市場は、月前半、日銀がマイナス金利の導入を決定したことや大幅な円高・株安の進行などを受け、金利は低下(価格は上昇)し、一時マイナス圏に低下した後、利益確定目的の売りが強まったことなどから上昇(価格は下落)しました。月後半は、プラスの利回りを求めて超長期国債を買う動きが加速したことなどから、20~40年国債利回りは過去最低水準を更新し、10年国債利回りも再びマイナス圏に突入しました。新発10年国債利回りは、月末は△0.065%となりました(前月末は0.095%)。
日銀が前月末に「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を決定したことに伴い、2月16日より日銀は一部当座預金にマイナス金利を適用したことを受けて無担保コール翌日物金利は水準を切り下げ、概ね△0.02~0.1%近辺で推移しました。

【外国債券市場】

米国債券市場は、月前半、原油先物価格や米国株式の下落などを受けて投資家のリスク回避姿勢が強まったことやFRB議長の議会証言での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などを受けて、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、米国株式の上昇などで売りが先行し、上昇(価格は下落)した後、原油先物価格の反発などを背景に、リスク回避姿勢が和らぎましたが、ほぼ横ばいの動きとなりました。米10年国債利回りは、月末は1.735%となりました(前月末は1.921%)。
欧州債券市場は、月前半、追加金融緩和観測の強まりなどを背景に、金利は低下(価格は上昇)しました。月後半は、原油先物価格の反発などを背景に上昇(価格は下落)する場面もありましたが、ECBによる追加金融緩和への期待や英国のEU(欧州連合)離脱を問う国民投票への警戒感が高まったことなどから低下しました。独10年国債利回りは、月末は0.107%となりました(前月末は0.325%)。
FRB(米連邦準備制度理事会)は、FF(フェデラル・ファンド)金利の誘導目標を据え置き、年0.25~0.50%を維持しました。ECB(欧州中央銀行)は政策金利を据え置き、年0.05%を維持しました。

【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前月末比7円25銭円高ドル安の1ドル=113円62銭となりました。月前半、日米株式の下落などでリスク回避の円買いが強まったことや、FRB議長の議会証言での先行きの利上げペースが緩やかとの見方などを受けて、円高が加速しました。月後半は、原油先物価格の上昇などで円安となる一方、米国の利上げ観測が後退する中、円の先高観は強く、一進一退の推移となりました。
ユーロ/円相場は、前月末比8円06銭円高ユーロ安の1ユーロ=124円11銭となりました。月前半、原油先物価格や欧州株の下落、欧州での信用不安の高まりなどを背景に、揉み合いながら円高が進行しました。月後半は、円安となる場面もありましたが、ECBによる追加金融緩和への期待や英国のEU離脱を巡る不透明感の高まりなどを受けて、市場のリスク回避傾向から円高圧力が継続したこともあり、引き続き円高が進行しました。

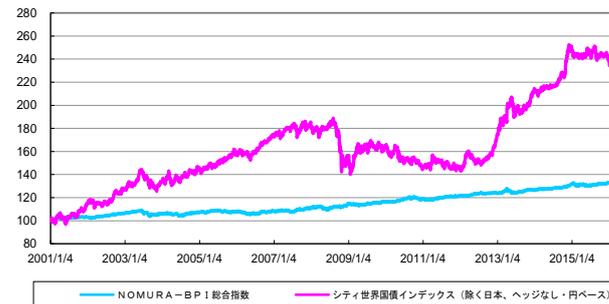
日本と外国の株式市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。

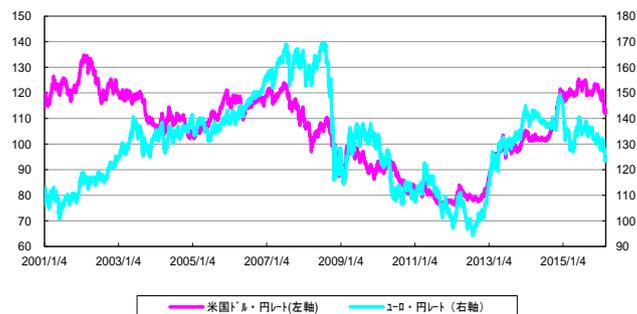


日本と外国の債券市場の推移

*下記グラフは2001年1月4日を100として指数化しています。



外国為替市場の推移



出所：株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先： カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

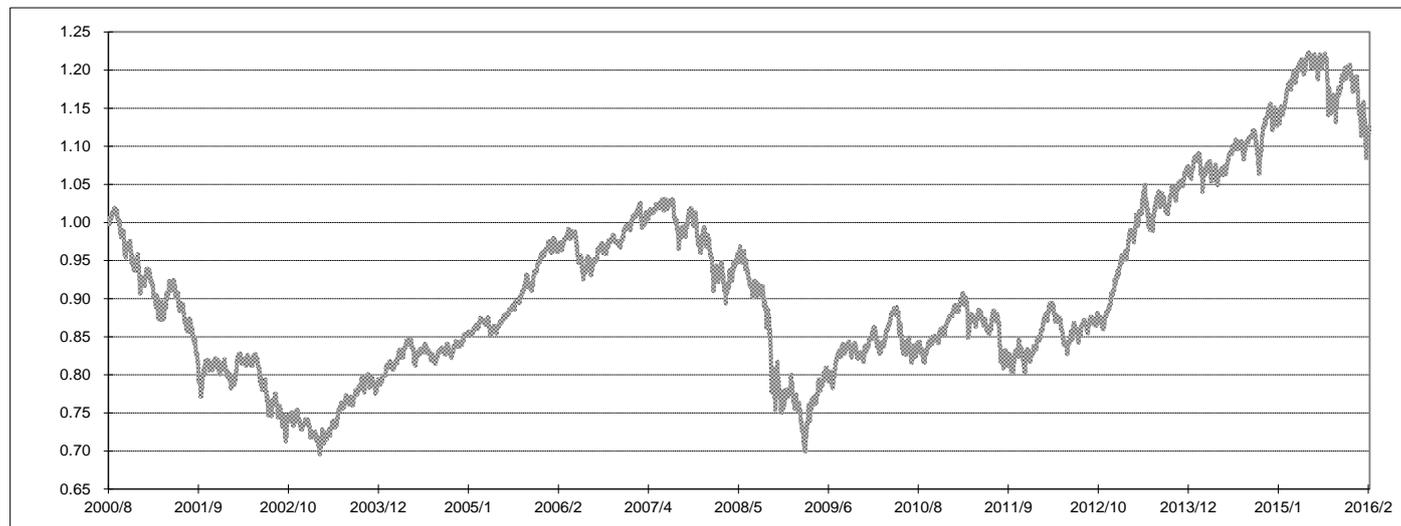
特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。

特別勘定の運用状況 [2016年2月 末日現在]

■特別勘定のINDEXの推移

※ 特別勘定のINDEXは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



	2016年2月末	2016年1月末	2015年12月末	2015年11月末	2015年10月末	2015年9月末
INDEX	1.125	1.145	1.191	1.202	1.194	1.138
騰落率(%)	過去1ヵ月 ▲1.75	過去3ヵ月 ▲6.43	過去6ヵ月 ▲4.20	過去1年 ▲4.80	過去3年 17.21	設定来 12.51

※ 特別勘定のINDEXは、2000年8月1日を1.00として計算しています。

※ 騰落率は、該当月の月末のINDEXに対する当月末のINDEXの変動率を表しています。

■特別勘定資産の内訳

項目	金額(千円)	比率(%)
現預金・その他	1,880,499	4.4
その他有価証券	40,437,039	95.6
アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A)	4,097,507	9.7
アクサ ローゼンバーグ・日本バリュウ株式ファンド(B)	6,019,112	14.2
アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)	6,383,907	15.1
アクサ ローゼンバーグ・欧州株式ファンド(A)	4,436,755	10.5
アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)	19,499,757	46.1
合計	42,317,539	100.0

※ 各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。

※ 金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しています。

■特別勘定の運用コメントおよび今後の運用方針

当月のINDEX騰落率等は上記をご参照願います。

資産配分に関しましては、基本資産配分を概ね維持しております。(株式部分は、日本株式25%、欧米株式25%の資産配分といたしました。)

今後も引き続き、運用方針に沿って運用を行う予定ですが、将来の市場環境の変動等により、当該運用方針が変更されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

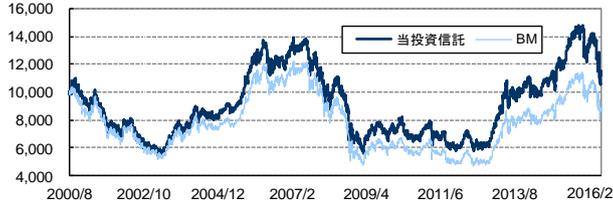
特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)の運用状況

[2016年2月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を10,000として指数化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定以来
投資信託	▲9.92%	▲18.72%	▲15.52%	▲13.67%	36.93%	13.84%
BM	▲9.37%	▲17.87%	▲15.56%	▲14.83%	33.02%	▲12.46%
差	▲0.55%	▲0.85%	0.04%	1.16%	3.90%	26.30%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年8月3日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 輸送用機器	10.87%
2 電気機器	9.85%
3 情報・通信業	9.53%
4 小売業	8.56%
5 銀行業	6.81%
6 医薬品	6.22%
7 卸売業	5.72%
8 化学	5.53%
9 その他業種	35.69%
10 現金等	1.23%
合計	100.00%

○ 市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	98.77%
2 現金等	1.23%
合計	100.00%

○ 組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.82%
2 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.36%
3 日本電信電話	情報・通信業	2.35%
4 KDDI	情報・通信業	2.24%
5 日本たばこ産業	食料品	1.82%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.58%
7 ソフトバンクグループ	情報・通信業	1.37%
8 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.29%
9 アステラス製薬	医薬品	1.18%
10 本田技研工業	輸送用機器	1.14%
合計		19.15%
組入銘柄数		315銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲9.92%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比▲9.37%となりました。当月の日本株式市場では、企業規模の大きい銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた自動車や小売が下落したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた大崎電気工業(6644)やレーザーテック(6920)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた河西工業(7256)や三菱UFJフィナンシャル・グループ(8306)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、ポートフォリオをベンチマークからの乖離が一定の範囲内に収まるよう構築することで、中・長期的な観点から安定的にベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ~8ページに記載されている「1~4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本バリュー株式ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年2月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	▲9.84%	▲19.03%	▲14.54%	▲10.91%	40.17%	35.85%
BM	▲9.37%	▲17.87%	▲15.56%	▲14.83%	33.02%	0.66%
差	▲0.47%	▲1.16%	1.02%	3.92%	7.14%	35.19%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)¹⁾です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○業種別構成比率

業種	マザーファンド
1 電気機器	11.54%
2 情報・通信業	10.93%
3 小売業	10.13%
4 輸送用機器	9.44%
5 銀行業	7.20%
6 化学	7.15%
7 医薬品	6.69%
8 食料品	5.81%
9 その他業種	29.99%
10 現金等	1.13%
合計	100.00%

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○市場別構成比率

市場	マザーファンド
1 東京証券取引所第一部	95.93%
2 その他の市場	1.40%
3 ジャスダック証券取引所	1.08%
4 東京証券取引所第二部	0.44%
5 名古屋証券取引所第二部	0.02%
6 名古屋証券取引所第一部	0.01%
7 現金等	1.13%
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	業種	マザーファンド
1 トヨタ自動車	輸送用機器	3.55%
2 日本電信電話	情報・通信業	2.78%
3 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.59%
4 日本たばこ産業	食料品	2.49%
5 KDDI	情報・通信業	2.39%
6 三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	2.28%
7 アステラス製薬	医薬品	2.04%
8 みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.89%
9 日産自動車	輸送用機器	1.71%
10 三菱電機	電気機器	1.65%
合計		23.37%
組入銘柄数		186銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲9.84%となりました。一方、ベンチマークである東証株価指数(TOPIX)の騰落率は、前月末比▲9.37%となりました。当月の日本株市場では、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に下落する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた三菱電機(6503)や田辺三菱製薬(4508)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた旭硝子(5201)やNOK(7240)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、わが国の企業の株式から、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別し、積極的に投資することで、ベンチマークを上回る運用を目指します。割安株の選別は、独自に開発したシステムティックなモデル(定量分析)を幅広い銘柄に適用し、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目して、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「1~4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

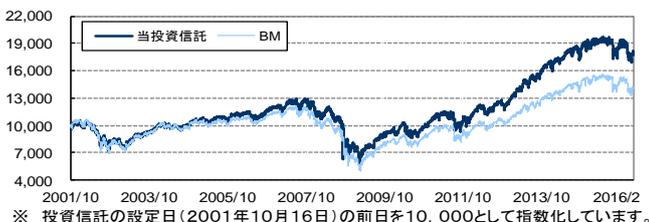
特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している他、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年2月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



■利用する投資信託について

【投資信託名】 アクサ ローゼンバーグ・米国株式ファンド(A) 〈適格機関投資家私募〉
 【委託会社】 アクサ・インベストメント・マネージャーズ株式会社
 【運用方針】

マザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に、主として米国の企業が発行する株式を対象に投資を行い、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」(バリューストック)を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的にみて、安定的に上回る運用をめざします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行います。

※ 当投資信託は、主としてアクサ ローゼンバーグ・米国株式マザー・ファンド受益証券(適格機関投資家私募)に投資します。

■当投資信託の騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定以来
投資信託	3.14%	▲6.18%	▲1.61%	▲7.33%	34.40%	80.54%
BM	2.83%	▲7.02%	▲2.40%	▲8.24%	27.13%	41.43%
差	0.30%	0.84%	0.79%	0.91%	7.27%	39.11%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、S&P500種株価指数²(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○セクター別構成比率

セクター	マザーファンド
1 ソフトウェア・サービス	12.86%
2 医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.49%
3 食品・飲料・タバコ	7.35%
4 小売	6.07%
5 エネルギー	6.02%
6 資本財	5.71%
7 テクノロジー・ハードウェア	5.09%
8 銀行	4.89%
9 その他業種	39.69%
10 現金等	0.83%
合計	100.00%

○組入上位10銘柄

銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1 ALPHABET INC-CL A	アメリカ	ソフトウェア・サービス	3.06%
2 APPLE INC.	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア	2.73%
3 JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.63%
4 AT&T INC.	アメリカ	電気通信サービス	2.15%
5 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.93%
6 PFIZER INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.89%
7 EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.70%
8 MERCK & CO. INC.	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.42%
9 COMCAST CORPORATION	アメリカ	メディア	1.40%
10 INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	1.40%
合計			20.29%
組入銘柄数			233銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+3.14%となりました。一方、ベンチマークであるS&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は、前月末比+2.83%となりました。当月の米国株式市場は、株価を1株あたりの利益と比較した時に割安であった銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で多めに保有していたことはプラスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた石油販売が下落したことや少なめに保有していた輸送が上昇したことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していたエネルギーのMARATHON PETROL EUM CORPやメディアのVIACOM INC. が下落したことはマイナスに寄与しましたが、多めに保有していた小売のTHE PRICELINE GROUP INC. や素材のTHE DOW CHEMICAL COMPANYが上昇したことはプラスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、米国企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が、適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ~8ページに記載されている「*1~*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーク・欧州株式ファンド(A) (適格機関投資家私募)の運用状況

[2016年2月 末日現在]

■ 当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を10,000として指数化しています。

■ 当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定以来
投資信託	▲0.24%	▲10.75%	▲6.71%	▲12.02%	16.28%	23.65%
BM	▲0.18%	▲10.69%	▲6.87%	▲13.72%	8.25%	▲8.52%
差	▲0.07%	▲0.06%	0.16%	1.70%	8.03%	32.17%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2001年10月16日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りとは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、MSCI欧州株価指数³(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの/円ベース)です。

・ 比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

■ マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 国別構成比率

順位	国名	マザーファンド
1	イギリス	29.25%
2	フランス	14.48%
3	ドイツ	14.21%
4	スイス	12.42%
5	オランダ	5.82%
6	スウェーデン	4.68%
7	スペイン	4.09%
8	イタリア	3.66%
9	その他の国	10.69%
10	現金等	0.70%
合計		100.00%

○ セクター別構成比率

順位	セクター	マザーファンド
1	医薬品・バイオテクノ・ライフ	11.43%
2	食品・飲料・タバコ	10.85%
3	資本財	9.41%
4	銀行	8.37%
5	保険	7.36%
6	素材	7.32%
7	エネルギー	5.10%
8	電気通信サービス	5.02%
9	その他業種	34.43%
10	現金等	0.70%
合計		100.00%

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	セクター	マザーファンド
1	NESTLE SA	スイス	食品・飲料・タバコ	2.95%
2	HSBC HOLDINGS PLC	イギリス	銀行	2.39%
3	GLAXOSMITHKLINE PLC	イギリス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	2.11%
4	BRITISH AMERICAN TOBACCO PLC	イギリス	食品・飲料・タバコ	2.07%
5	ROCHE HOLDING AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.91%
6	ANHEUSER-BUSCH INBEV NV	ベルギー	食品・飲料・タバコ	1.87%
7	SIEMENS AG	ドイツ	資本財	1.69%
8	SANOFI	フランス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.68%
9	NOVARTIS AG	スイス	医薬品・バイオテクノ・ライフ	1.68%
10	UNILEVER NV	オランダ	家庭用品・パーソナル用品	1.68%
合計				20.03%
組入銘柄数				215銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■ 当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比▲0.24%となりました。一方、ベンチマークであるMSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)の騰落率は前月末比▲0.18%となりました。当月の欧州株式市場は、企業の借入れ依存度の高い銘柄が相対的に上昇する基調にあり、当投資信託ではこれらの銘柄をベンチマーク対比で少なめに保有していたことはマイナスへ寄与しました。委託会社独自の業種別では、ベンチマーク対比で、少なめに保有していた石油メジャーや機械が上昇したことはマイナスに寄与しました。国別では下落したベルギーの銘柄を多めに保有していたことはマイナスに寄与しました。一方、個別銘柄では、ベンチマーク対比で、多めに保有していた素材のNORSK HYDRO ASA(ノルウェー)が上昇したことはプラスに寄与しましたが、多めに保有していた食品・飲料・タバコのANHEUSER-BUSCH INBEV SA/NV(ベルギー)が下落したことはマイナスに寄与しました。

当投資信託の運用方針は、欧州企業の株式の中で、個別銘柄の市場価格が適正と考えられる価格に比べて過小に評価されていると判断される「割安株」を選別してポートフォリオを構築することで、ベンチマークを中長期的に安定的に上回る運用を目指します。割安株の選別は、銘柄選択用クオンツモデル(定量分析)等により、個別企業の財務諸表および企業収益の変化等の要因からみた割安度に着目し、個別企業を詳細に分析・評価するボトムアップ・アプローチにより行なうことを基本とします。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・ 4ページ~8ページに記載されている「*~*」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

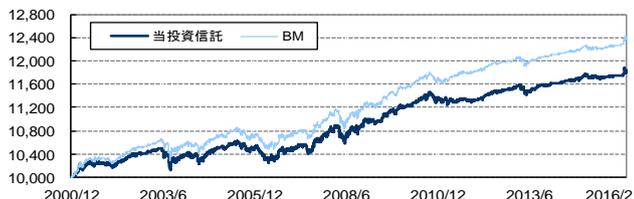
特別勘定の月次運用レポート (2016年2月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、利用する投資信託の委託会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

アクサ ローゼンバーグ・日本債券ファンド(B)〈適格機関投資家私募〉の運用状況

[2016年2月 末日現在]

■当投資信託の基準価額の推移



※ 投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を10,000として指数化しています。

■当投資信託の騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
投資信託	0.38%	0.78%	0.92%	0.87%	2.37%	18.38%
BM	0.63%	1.15%	1.34%	1.43%	2.94%	24.06%
差	▲0.25%	▲0.37%	▲0.42%	▲0.56%	▲0.57%	▲5.68%

※ 設定来の騰落率は、投資信託の設定日(2000年12月21日)の前日を起点として計算しています。

※ 投資信託の騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

また、投資信託の騰落率と実際の投資家利回りは異なります。

※ 「BM」とは、ベンチマークを指します。ベンチマークは、日興債券パフォーマンス・インデックス(総合⁴、中期3年以上7年未満)です。

■マザーファンド受益証券の詳細情報

○ 資産構成

	修正デュレーション	マザーファンド
公社債	4.22年	99.65%
国債	5.41年	57.31%
地方債	0.00年	0.00%
特殊債・財投債	0.00年	0.00%
金融債	0.00年	0.00%
社債等	2.62年	42.34%
その他	0.00年	0.00%
短期資産等*	0.00年	0.35%
合計	4.21年	100.00%

* 債券先物を含みます。

・比率は、マザーファンド受益証券における純資産総額比となります。

○ 公社債の格付別構成比率

格付区分	マザーファンド
AAA	0.00%
AA	17.29%
A	78.50%
BBB	4.22%
BB以下(無格付含)	0.00%
合計	100.00%

格付基準:

※ 海外格付機関の格付を優先します。

※ 海外格付機関の格付取得の無い発行体は、国内格付機関の格付を採用します。

○ 組入上位10銘柄

順位	銘柄	国名	クーポン	償還日	格付		マザーファンド
					ムーディーズ	S&P	
1	第320回利付国債(10年)	日本	1.000%	2021年12月20日	A1	A+	12.05%
2	第312回利付国債(10年)	日本	1.200%	2020年12月20日	A1	A+	10.10%
3	第311回利付国債(10年)	日本	0.800%	2020年9月20日	A1	A+	7.45%
4	第309回利付国債(10年)	日本	1.100%	2020年6月20日	A1	A+	5.95%
5	第313回利付国債(10年)	日本	1.300%	2021年3月20日	A1	A+	5.82%
6	第322回利付国債(10年)	日本	0.900%	2022年3月20日	A1	A+	4.81%
7	第5回新韓銀行円貨社債(2014)	韓国	0.390%	2017年11月13日	Aa3	A	4.04%
8	第2回スタンダード・チャータード・ビーエルシー	イギリス	0.453%	2020年6月5日	Aa3	A-	3.44%
9	第315回利付国債(10年)	日本	1.200%	2021年6月20日	A1	A+	2.91%
10	第328回利付国債(10年)	日本	0.600%	2023年3月20日	A1	A+	2.38%
合計							58.95%
組入銘柄数							46銘柄

※ 上記銘柄は、推奨または取得の申込みの勧誘を行うものではありません。

■当投資信託の運用コメントおよび今後の運用方針

投資信託の騰落率は前月末比+0.38%、一方、ベンチマークである日興債券パフォーマンス・インデックス(総合、中期3年以上7年未満)は前月末比+0.63%となりました。当月の当投資信託は前月からの戦略を維持しましたが、ベンチマークを下回る結果となりました。当月は世界的な投資家のリスク回避姿勢の強まりに加え、日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」による需給の引き締めを受け、日本国債利回りは低下しました。当月末の日本10年国債の利回りは前月末比0.160%低下のマイナス0.065%となりました。

委託会社は、日銀の量的金融緩和策を背景にして、日本国債利回りはマイナス圏で推移すると予想しています。今後の当投資信託の方針として、デュレーション戦略ではベンチマーク対比短めとし、種別戦略ではベンチマーク対比での国債の少なめの配分と非国債の多めの配分を維持する方針です。

※ 将来の市場環境の変動等により、今後の運用方針通りに運用できないことがあります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しています。

・4ページ～8ページに記載されている「*1～*4」の用語説明は、9ページに記載しています。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

変額保険

用語説明

- *1 「東証株価指数(TOPIX)」とは、東京証券取引所第一部に上場する国内株全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。
東証株価指数(TOPIX)は、株式会社東京証券取引所(以下株東京証券取引所)の知的財産であり、この指数の算出、数値の公表、利用など株価指数に関するすべての権利は株東京証券取引所が有しています。
株東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止、またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。
- *2 「S&P500種株価指数」とは、スタンダード&プアーズ社が公表している株価指数で、米国の主要500社によって構成されています。当該指数に関する一切の知的財産権その他一切の権利はスタンダード&プアーズ社に帰属しています。S&P500種株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、S&P500種株価指数(米ドルベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *3 「MSCI欧州株価指数」とは、MSCI Inc. の算出する欧州株式市場の動きを示す指数です。MSCI欧州株価指数に関する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。
また、MSCI Inc. は、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。MSCI欧州株価指数(為替ヘッジコスト相当分を調整して得たもの)は、MSCI欧州株価指数(現地通貨ベース)に対し、委託会社が為替ヘッジコスト相当分を調整した上で円ベースに評価したものです。
- *4 「日興債券パフォーマンス・インデックス(総合)」とは、日興フィナンシャル・インテリジェンス株式会社が発表している、日本の債券市場の動きを表す指数です。国債、地方債、政府保証債、財投機関債、金融債、事業債などの円建て公募利付債で構成されています。対象となる債券は残存年数1年以上、残存額面10億円以上で、格付機関からBBB格相当以上の格付を取得している発行体に限られます。
同指数に関する著作権、知的財産権その他の一切の権利はSMBC日興証券株式会社に帰属します。また、SMBC日興証券株式会社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

注意事項

○変額保険の仕組み

変額保険とは、保険金額が「特別勘定」の資産運用実績にもとづいて変動する生命保険です。

*特別勘定とは、変額保険にかかわる資産の管理・運用を行うもので、他の保険種類にかかわる資産とは区分し、独立して管理・運用を行います。

○変額保険のリスクについて

①市場リスク

特別勘定の資産運用には、株価の低下や為替の変動等による投資リスクがあります。場合によっては、お受け取りになる保険金額(有期型の場合、満期保険金を含む)や解約払いもどし金額の合計額が、払い込まれた保険料の合計額を下回る可能性があります。なお運用実績にかかわらず、死亡・高度障害時保険金は保証されています。

②信用リスク

万一、引受生命保険会社が経営破綻に陥った場合、ご契約時にお約束した給付金等の金額が削減されることがあります。その場合、生命保険契約者保護機構により、保険契約者保護の措置が図られることがありますが、この場合にも、ご契約時の給付金等の金額が削減されることがあります。

【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社

お問合せ先: カスタマーサービスセンター

Tel 0120-568-093

アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>

契約月別の運用実績の例

(一時払、男性40歳加入、基本保険金額1,000万円の場合)

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成12年 8月 1日	1,000	-526	12.51	0.76
平成12年 9月 1日	1,000	-534	10.85	0.67
平成12年 10月 1日	1,000	-512	14.01	0.85
平成12年 11月 1日	1,000	-494	16.60	1.01
平成12年 12月 1日	1,000	-474	19.57	1.18
平成13年 1月 1日	1,000	-455	22.21	1.33
平成13年 2月 1日	1,000	-466	19.98	1.21
平成13年 3月 1日	1,000	-432	25.10	1.50
平成13年 4月 1日	1,000	-412	27.91	1.66
平成13年 5月 1日	1,000	-434	23.84	1.45
平成13年 6月 1日	1,000	-427	24.60	1.50
平成13年 7月 1日	1,000	-414	26.33	1.61
平成13年 8月 1日	1,000	-388	30.05	1.82
平成13年 9月 1日	1,000	-351	35.63	2.12
平成13年 10月 1日	1,000	-305	42.57	2.49
平成13年 11月 1日	1,000	-320	39.65	2.36
平成13年 12月 1日	1,000	-324	38.36	2.30
平成14年 1月 1日	1,000	-324	37.93	2.30
平成14年 2月 1日	1,000	-298	41.69	2.51
平成14年 3月 1日	1,000	-304	40.12	2.44
平成14年 4月 1日	1,000	-317	37.57	2.32
平成14年 5月 1日	1,000	-310	38.17	2.36
平成14年 6月 1日	1,000	-312	37.37	2.34
平成14年 7月 1日	1,000	-276	42.69	2.64
平成14年 8月 1日	1,000	-242	47.64	2.91
平成14年 9月 1日	1,000	-239	47.64	2.93
平成14年 10月 1日	1,000	-210	51.84	3.16
平成14年 11月 1日	1,000	-207	51.82	3.18
平成14年 12月 1日	1,000	-220	49.18	3.06
平成15年 1月 1日	1,000	-193	53.10	3.29
平成15年 2月 1日	1,000	-167	56.75	3.50
平成15年 3月 1日	1,000	-160	57.37	3.55

契約日	終身型		契約月別 運用実績 (%)	年複利 (%)
	保険金額 (万円)	変動保険金額 (万円)		
平成15年 4月 1日	1,000	-156	57.56	3.58
平成15年 5月 1日	1,000	-170	54.34	3.44
平成15年 6月 1日	1,000	-183	51.69	3.32
平成15年 7月 1日	1,000	-199	48.51	3.17
平成15年 8月 1日	1,000	-207	46.62	3.09
平成15年 9月 1日	1,000	-214	44.99	3.02
平成15年 10月 1日	1,000	-215	44.35	3.00
平成15年 11月 1日	1,000	-224	42.38	2.91
平成15年 12月 1日	1,000	-219	42.61	2.94
平成16年 1月 1日	1,000	-228	40.67	2.84
平成16年 2月 1日	1,000	-237	38.67	2.74
平成16年 3月 1日	1,000	-246	36.72	2.64
平成16年 4月 1日	1,000	-257	34.52	2.52
平成16年 5月 1日	1,000	-254	34.47	2.53
平成16年 6月 1日	1,000	-244	35.64	2.63
平成16年 7月 1日	1,000	-252	33.81	2.53
平成16年 8月 1日	1,000	-235	35.98	2.69
平成16年 9月 1日	1,000	-233	35.71	2.69
平成16年 10月 1日	1,000	-231	35.50	2.70
平成16年 11月 1日	1,000	-226	35.79	2.74
平成16年 12月 1日	1,000	-235	34.01	2.64
平成17年 1月 1日	1,000	-246	31.77	2.50
平成17年 2月 1日	1,000	-244	31.63	2.51
平成17年 3月 1日	1,000	-254	29.56	2.38

注(1) 保険金額は、基本保険金額に変動保険金額を加えた保障額を示したものです。ただし、変動保険金額が負値の場合、保険金額は基本保険金額を表示しています。

(2) 契約月別運用実績は、契約時点で特別勘定に投入した金額の平成28年2月末までの運用実績を示したものです。なお、この運用実績は、ご契約者の支払われた保険料から死亡保障額等に当てられたものを控除した部分の伸び率です。

(3) 年複利は契約月別運用実績を年複利換算したものです。

(4) 終身型は、平成17年3月31日で販売終了しています。

(5) 有期型は平成14年10月31日で販売終了しています。平成24年10月31日で全ての契約が保険期間を満了しました。